

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



東海道第四十八宿  
**東海道五十三次**  
**坂下** さかしね  
 東海道中にも有数の難所  
 だった鈴鹿峠。かつては険路のうえに  
 山賊が出没として恐れられていた。  
 山賊が旅人を待ち受けたりと、饑乏  
 は、山々を眼下に見晴す絶景の場所。

▲鈴鹿馬子唄会館  
 画聖の筆捨山  
 鈴鹿川の深谷の向こうに  
 筆捨山が見える。かつて  
 画聖狩野元信がこの景  
 勝に心をなやまして、絵に描く  
 つじに激しく変わる  
 気象の変化に筆が及  
 ばず、ついに筆を投げ捨て  
 それ以来筆捨山と呼ば



鈴鹿馬子唄会館  
 平成七年（一九九五）七月開館。  
 国道一号の鈴鹿峠三下線分  
 岐点からすぐ多岐面型の  
 コーナを建物で囲囲には  
 五十三次の宿場名を記した  
 柱がたてられている。  
 多岐的ホリには昇降式ステ  
 ジも。  
 かつては、のぼりくだりの旅人で  
 にぎわった大きな旅籠が軒を  
 連ねた。本陣、脇本陣の規模も  
 街道有数だった  
 という  
 千数も二六ほどの  
 宿場だったが、  
 明治以降近代交通  
 の谷間に残され  
 かつての急速に  
 さみれた。